

直近の世論調査から見る政局 - その5

2008年9月11日 総合研究室

今回のポイント

安倍内閣と福田内閣の総括的指標の比較をしてみると...福田、自民、民主
 「政権投げだし」効果??で、自民支持率が+3%アップ?
 世論の「政権交代への志向性」(福田辞任表明後)に基調の変化はない...民主へ(朝日、ANN、JNN、NNN)、自民へ(共同のみ)

1. 安倍内閣と福田内閣の総括的指標の比較をしてみると...福田、自民、民主

8月1日に内閣改造をしたばかりの福田首相が、1ヶ月後の9月1日夜に、突然の辞任を表明した。「新しい布陣のもとに政策実現を図る」というのが理由だが、安倍首相が内閣改造(07.8.27)して半月後の「政権投げだし」(9.12)に次いで二度目。さすがに主要各紙は、読売を除いて「無責任だ」「早期解散を」という論調で統一された。

安倍・福田内閣の支持率比較

	安倍内閣			福田内閣		
	MAX	MIN	AVG	MAX	MIN	AVG
朝日	63	26	37.6	53	19	32
毎日	67	22	39.2	57	18	30.9
共同	65.0	28.1	42.4	57.8	19.8	35.9
日経	71	27	46.7	59	21	37.8
読売	70.3	27.2	40.0	59.1	25.1	38.9
AVG	67.3	26.1	41.2	57.2	20.6	35.1
MAX	71.0	28.1	46.7	59.1	25.1	38.9
MIN	63.0	22.0	37.6	53.0	18.0	30.9

直後の世論調査では有権者の6割~7割は憤慨しているのに、どうしてか、辞意表明直後の自民党支持率にはやや増加の傾向が見られた。

これは安倍首相の「政権投げだし」の直後にも現れた現象だった。その原因を探る前に、福田内閣が今回事実上倒れたので、これを記録しておく意味で、総括的な指標を整理しておこう。

主要5紙の世論調査結果から独自に整理した各指標を左表にまとめてみた。

安倍・福田内閣の下での自民党支持率

	安倍内閣			福田内閣		
	MAX	MIN	AVG	MAX	MIN	AVG
朝日	34	21	27.2	33	22	27.4
毎日	42	17	26.8	32	20	25
共同	49.2	31.5	38.8	38.4	24.3	30.8
日経	55	29	41	43	31	37.5
読売	49.4	27.3	33.9	37.8	26.0	32.2
AVG	45.9	25.2	33.5	36.8	24.7	30.6
MAX	55.0	31.5	41.0	43.0	31.0	37.5
MIN	34.0	17.0	26.8	32.0	20.0	25.0

安倍内閣は発足直後の支持率は最高で71%、福田内閣は59%。12%の差がある。安倍内閣の末期には22%にまで低下したが、福田内閣はさらに落ち込んで「絶対危険水域」と言われる20%を切り、18%にまで低下した。内閣在任期間(発足から辞意表明前まで)の平均支持率は、安倍が41%、福田は35%で6%の差がある。こういう指標を過去の歴代内閣と比較するデータがないので何とも言えないが、「安倍もひどかったが、福田はもっとひどかったんだね!」...

安倍・福田内閣の下での民主党支持率

	安倍内閣			福田内閣		
	MAX	MIN	AVG	MAX	MIN	AVG
朝日	34	14	19.9	28	20	23.4
毎日	33	13	19.6	28	22	25.1
共同	37.6	15.4	20.2	30.3	22.7	27.5
日経	44	18	25.6	36	29	31.9
読売	31.4	11.1	20.3	24.6	17.1	19.8
AVG	36.0	14.3	21.1	29.4	22.2	25.5
MAX	44.0	18.0	25.6	36.0	29.0	31.9
MIN	31.4	11.1	19.6	24.6	17.1	19.8

安倍内閣から福田内閣に至る時期の自民党と民主党の支持率の数値も整理してみた。

自民党の支持率は主要5紙の平均で、安倍内閣時を通した平均は33.5%だったが、福田内閣時は平均すると30.6%へと3%あまり低下した。これに対して民主党の支持率は21.1%から25.5%へと4.4%の増となった。各社による傾向値の違いはあるも

の、小泉内閣時代に比べて自民党はランクダウンが続き、逆に民主党はランクアップし続けてきたことは、これまでの分析からも間違いはないだろう。

2. 福田首相、二度目の「政権投げだし」...離反層が一部復帰して、自民支持率+3%。

政府の調査でも「国民の57%が生活が苦しい」(9.10報道)という中で、重要課題が山積している時に、突然「辞めた！」と政権を投げ出す行為に対しては、世論の6割~7割の有権者が「無責任だ」と憤慨している。しかし奇妙なことに「政権投げ出し」後の自民党の支持率には、安倍の時も今回の福田の時も、増加傾向が見られることである。

自民党の支持率は、安倍首相辞任表明直後で2%弱アップ、今回の福田首相の辞任表明直後では3%アップという平均値が得られた。一般的には、政権に愛想が尽きて離反していた旧来の自民党支持層の一部が、次に期待をかけて復帰してきたと見られている。

安倍首相、辞任表明前後の自民・民主支持率の変化

	自民党支持率			民主党支持率		
	辞任表明前b	辞任表明後c	c-b	辞任表明前b	辞任表明後c	c-b
朝日	25.0	30.0	5.0	32.0	28.0	-4.0
共同	38.8	35.4	-3.4	25.6	30.1	4.5
毎日	26.0	27.0	1.0	26.0	29.0	3.0
FNN	28.2	30.5	2.3	30.9	25.9	-5.0
JNN	28.3	29.2	0.9	32.4	29.0	-3.4
報2001	19.6	24.6	5.0	32.0	28.2	-3.8
AVG	27.7	29.5	1.8	29.8	28.4	-1.5

こういう傾向値がでたことで、マスコミは「自民回復基調」という報道をしているが、見て分かるとおり、一部の報道機関調査を除けば、そう大きな変化とは見られない。

民主党の支持率は、前回も今回も1.5%~1.8%の間で低下した。

しかし今回の現象は、自民・民主の政党間の基礎体力の何らかの変化を意味するものでなく一時的なものと考えられる。ちなみに「辞任表明後」の民主党の支持率が、前回平均で28.4%、今回平均が22.9%と、前回の方が高くなっているのは、参院選で民主党が躍進した「追い込み感」が残っていた時期だったことに起因する。平均した自民・民主の政党支持率は前項で見た通りだ。

福田首相、辞任表明前後の自民・民主支持率の変化

	自民党支持率			民主党支持率		
	辞任表明前b	辞任表明後c	c-b	辞任表明前b	辞任表明後c	c-b
朝日9.4	26.0	29.0	3.0	20.0	21.0	1.0
共同9.4	28.7	36.8	8.1	30.2	27.0	-3.2
読売9.9	30.5	29.7	-0.8	18.7	16.9	-1.8
毎日9.10	24.0	33.0	9.0	24.0	22.0	-2.0
ANN9.8	37.3	42.9	5.6	29.4	25.6	-3.8
JNN9.8	31.3	29.6	-1.7	23.8	26.1	2.3
NNN9.7	34.3	35.3	1.0	26.3	22.5	-3.8
報2001	25.0	25.4	0.4	28.6	26.2	-2.4
NHK9.8	31.4	33.8	2.4	21.1	18.4	-2.7
AVG	29.8	32.8	3.0	24.7	22.9	-1.8

自民党・公明党は、福田内閣の支持率の低迷に悩み、サミット、内閣改造、そして今度は、麻生？新内閣の下で、一時的に支持率が上昇した隙を狙って解散・総選挙に持って行くという意図が見え見えだが、果たしてそううまくいくのだろうか。

ともかく自民党が乾坤一擲、やっと「解散・総選挙」の勝負に出てきた。選挙マニアの当面の注目点は、「さて新内閣の支持率はどの程度に収まるか？」「さて自民党の支持率はどの程度まで(冒頭解散に打って出ようとするほど)回復するか？」...

こうした下策に負けない王道の戦いが民主党に求められている。

テレビ世論調査はなじみが少ないので...ANN(報道ステーションなど)、NNN(日テレ系)、JNN(TBS、ニュース23など)、FNN(フジ・産経グループ)、報2001(報道2001)

3. 世論の「政権交代への志向性」に基調の変化はない。

...民主へ(朝日、ANN、JNN、NNN)、自民へ(共同のみ)

ポスト福田の新政権が、安倍・福田と続いた自民党の末期的現象からの転換を図れるかどうかは、この後の世論の動向などを見てみないと分からない。

世論の政権交代への志向性

読売	仮に衆院選で投票・比例		共同	政権は	
	自民へ	民主へ		自民中心	民主中心
4.3報道	26.4	28.9	1.13報道	35.0	41.5
5.20報道	27.6	26.2	2.11報道	36.0	40.2
6.17報道	25.1	27.5	3.17報道	38.5	37.3
7.15報道	25.6	26.9	4.6報道	32.9	39.8
8.3報道	30.8	34.2	5.3報道	26.7	50.0
8.12報道	31.3	25.1	6.14報道	35.1	40.4
朝日			7.13報道	31.2	45.3
5.2報道	22	39	8.3報道	34.8	48.2
5.20報道	23	39	9.4報道	43.3	41.7
6.17報道	23	36	朝日		
8.3報道	25	32	9.4報道	32	41
9.2報道	27	31	ANN		
9.4報道	28	32	9.8報道	36	41
共同					
9.4報道	38.4	34.9	毎日	勝ってほしい政党	
JNN				自民	民主
9.8報道	30	37	3.3報道	34	44
			4.7報道	36	40
			5.3報道	24	51
			6.16報道	25	46
			8.3報道	31	46
			JNN		
			9.8報道	42	52
			NNN		
			9.7報道	35.7	43.7

しかしこれまでのところ、辞任表明直後の世論調査からは、世論の「政権交代への志向性」に関しては、その基調に変化が出てきたという兆しはない。

「衆院選・比例投票ではどの政党に」という調査では、今回初めて報道された共同通信が、「自民へ38.4%、民主へ34.9%」と、自民がやや上回ったことを除けば、朝日はこれまで通りの傾向。JNN報道でも「民主へ」が「自民へ」を上回っている。

「次の政権は」という問にも、共同のみが「自民中心の政権」43.3%、「民主中心の政権」41.7%と、これもわずかに自民党優位になったが、朝日、ANNは「民主中心」となっ

ている。

さらに「勝ってほしい政党」でも、JNN、NNNとも「民主党に」が「自民に」を上回っている。

しかし、民主党への期待があるのは、やはり自民党政権への“失望”を乗り越えた“飽き”からくるものだ。一時的なものではないが、少なくとも、民主党が何らかの失策を犯さなければ、「政権交代まで」は続きそうな風だ。

ワンフレーズ・ポリテックスで自民党の救世主となった小泉純一郎は、小泉チルドレンとの懇親会で「どんな言葉を使っても『民主党に一度やらせてみたら』という言葉は覆すことはできない。この重みはすごいぞ。今回は自民党に頼らず、自分党でやれ」(8.15読売)と言っている。

前項で自民と民主の体力差を見たように、民主党はランクアップしてきたとはいえ、まだ自民党との間では基礎体力の差があると自覚しておかなければならない。

ただの選挙管理内閣を選ぶためにドタバタ劇を演じている自民党を、マスコミは、またもや、もっともらしく政治ショー化させてきている。世論は小泉劇場の時のように、またもや踊らされるのか。それとも冷めていくのか...

ともかく民主党の存在感を高めるための活動に全力を挙げよう。